

# R3年大豆栽培農事メモ 第3号 (里のほほえみ版)

令和3年7月27日  
白山石川営農推進協議会  
石川県農業共済組合  
松任市農業協同組合

## 1 生育状況

管内の里のほほえみは開花期を迎えており、開花盛期は7月25日頃となっています。

培土を終えたほ場等では生育が旺盛になっており、よりの水分が必要な状況となっています。

一方で梅雨明け後は高温・多日照な日が続いており、**ほ場の乾燥が進んでいます。**  
(8月1日以降は、平年差+2.2℃の高温が続く予報が出ています)



里のほほえみ エンレイ

## 2 早急に培土と追肥を実施しましょう！

生育量を確保するため、**一発肥料を用いていない圃場では2回目の培土と追肥を速やかに実施しましょう。**(葉色が薄い場合は特に積極的に実施)

播種区分	培土・追肥時期	追肥(肥料名、施用量)
6月播種	7月末まで	硫安 10kg/10a または NK17号 11~13kg/10a

## 3 高温乾燥時や強風時は、うね間かん水を実施しましょう！

開花期(7月中下旬)~莢伸長期(8月上・中旬)にかけては干害の影響を受けやすく、圃場の乾燥が続くと着莢数が減り減収します。

今後乾燥が続く場合、**葉が裏返る前に、早めにうね間かん水**(地温の低い夕方から早朝にかけて行うことが望ましい)を実施しましょう。

うね間かん水を円滑に実施するため、**うね間のつなぎや排水溝等の点検**を行い、入排水がスムーズにできるようにしましょう。



## 4 除草対策・除草剤の散布により雑草の発生を抑えましょう！

除草剤名	適用雑草名	使用時期 [収穫前日数]	10a 当たり使用量 (希釈水量)	散布 方法	使用 回数
バスタ液剤	畑地一年生雑草 【非選択性】	畦間処理: 雑草生育期 [収穫28日前まで]	300~500 mL (100~150L)	雑草 茎葉 散布	3回以内
プリグロックスL	畑地一年生雑草 【非選択性】	畦間処理: 雑草生育期 (草丈30cm以下) [収穫3日前まで]	600~1000 mL (100~150L)		4回以内
ラウンドアップ マックスロード	畑地一年生雑草 【非選択性】	畦間処理: 雑草生育期 [収穫前日まで]	200~500 mL (通常散布50~100L) (少量散布25~50L)		2回以内

※いずれも**大豆にかかると枯れる**ため、注意して散布して下さい。

## 5 的確な防除で収量・品質向上に努めましょう！



里のほほえみには、子実肥大期に葉を損傷し、充実を低下させるウコンノメイガや葉焼病が発生しやすいので、初発時の薬剤防除を的確に行ってください。



### (1) 粉剤防除

	生育ステージ	使用時期の目安	使用薬剤名 [収穫前日数]	10a 当たり 使用量	対象病害虫名	使用 回数
1 回目	開花期~幼莢期	7月25 ~8月1日	Zボルドー粉剤DL [ - ]	3kg	紫斑病	-
			スミチオン粉剤3DL [収穫21日前まで]	4kg	カメシ類、マシクイガ	4回 以内
2 回目	子実肥大初期	8月10日 ~15日	スミチオンベルコート 粉剤DL [収穫21日前まで]	3kg	紫斑病、カメシ類、 マシクイガ	4回 以内
3 回目	子実肥大後期	9月1~5日	トレボン粉剤DL [収穫14日前まで]	4kg	カメシ類、シロイモジマ ダラムイガ、マシクイ ガ、ハスモンヨトウ、ア ブラムシ類、他	2回 以内
随 時	開花期~幼莢期 (7月下旬~8月上旬)	ウコンノメイガ 初発時	サイアノックス粉剤 [収穫7日前まで]	4kg	ウコンノメイガ	2回 以内
	子実肥大後期 以降	カメシ 多発時	MR. ジョーカー粉剤DL [収穫7日前まで]	4kg	カメシ類	2回 以内

### (2) 液剤防除

	生育ステージ	使用時期の目 安	使用薬剤名 [収穫前日数]	希釈倍数 (10a 当たり 使用量)	対象病害虫名	使用 回数
1 回目	開花期~ 幼莢期	7月25日 ~8月1日	混 用 Zボルドー水和剤 カスケード乳剤 [収穫7日前まで]	500倍 (100~300L)	紫斑病、葉焼病 斑点細菌病	-
				4,000倍 (100~300L)	カメシ類、ハスモンヨトウ ウコンノメイガ	2回 以内
2 回目	子実肥大初期	8月10日 ~15日	アミスタートレボンSE [収穫14日前まで]	1,000倍 (100~400L)	紫斑病、カメシ類	2回 以内
3 回目	子実肥大後期	9月1日 ~5日	スタークル液剤10 [収穫7日前まで]	1,000倍 (100~300L)	カメシ類	2回 以内
随 時	開花期~幼莢期 (7月下旬~8月上旬)	ウコンノメイガ 初発時	プレバソフフロアブル5 [収穫7日前まで]	4,000倍 (100~300L)	ウコンノメイガ	2回 以内
	子実肥大後期 以降	カメシ多発時	トレボン乳剤 [収穫14日前まで]	1,000倍 (100~300L)	カメシ類、ハスモンヨトウ マシクイガ アブラムシ、ヒメハムシ他	2回 以内



農薬・除草剤の使用では、使用基準を守り適正に使用し、周囲への飛散に注意するとともに、作業は熱中症予防のため、特に暑い日は無理をしない！